

患者の皆様へ

2018年7月17日 婦人科

当院で診断、治療される患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題：子宮内膜間質肉腫の組織型別予後と治療法に関する調査研究

2. 研究の対象

2002年1月1日より2012年12月31日までに当院で治療された子宮内膜間質肉腫の方が対象になります。

3. 研究目的・方法

子宮内膜間質肉腫は、発生頻度が低く、臨床的特徴も十分に検討されておりません。多施設で協力して臨床情報を集積、また子宮内膜間質肉腫のタイプ（組織型）を再検証し、組織型別の適切な治療法を明らかにすることを目的としています。

研究期間：平成30年9月31日から平成32年12月31日までを予定しています。ただし、必要な手続きを経て変更する場合があります。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

当院で治療を受けられた患者さんのカルテ記載情報及び生検、手術により採取・保管された検体を使用します。カルテ記載情報として年齢、病巣部位、大きさ、病理組織像、治療法、治療期間、効果、有害事象、転帰などを調査します。生検、手術により採取・保管された検体は組織型を決定する参考にするため、免疫染色という方法で腫瘍組織に特定のたんぱく質が含まれているか調べます。また腫瘍組織の遺伝子の変異を調べる場合もあります。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究では、上記診療情報と検体を匿名化（研究登録番号を付与）して新潟県立がんセンター新潟病院に送付、集積します。名前や住所など個人が特定される情報の集積はいたしません。対応表などのデータ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる棚で保管します。また、個人が特定されるような情報は一切公表しません。個人情報の安全保護においても厳重に管理され実施されます。

5. 研究組織

研究参加施設：日本臨床腫瘍研究グループ（婦人科腫瘍グループ）参加施設（http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_gcsg.htm）及び協力施設。

6. お問い合わせ先

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年12月22日）に基づいて掲示を行っています。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉大学医学部附属病院 婦人科 三橋 暁（当院研究責任者）
住所 〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL：043-222-7171（代）／FAX：043-226-2122